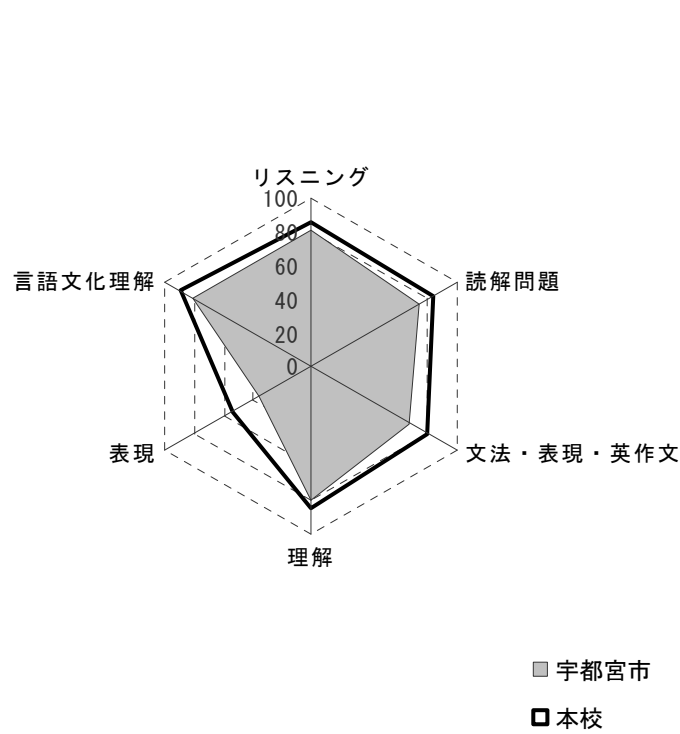


1 学年英語

1 結果

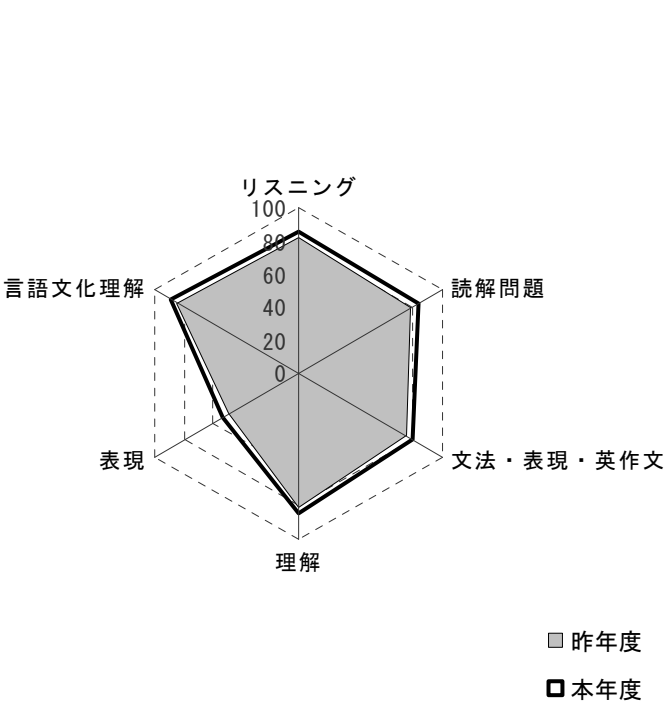
(1) 領域別・観点別平均正答率（宇都宮市と本校の状況）



		宇都宮市	本校
領域別	リスニング	81.5	85.5
	読解問題	74.3	83.5
	文法・表現・英作文	68.2	79.3
観点別	理解	79.2	84.9
	表現	35.6	53.5
	言語文化理解	80.5	89.0

受検人数	宇都宮市	本校
	4204 人	221 人

(2) 領域別・観点別平均正答率（平成19年度と平成18年度の状況）



		本年度	昨年度
領域別	リスニング	85.5	82.3
	読解問題	83.5	78.3
	文法・表現・英作文	79.3	74.5
観点別	理解	84.9	81.0
	表現	53.5	48.2
	言語文化理解	89.0	84.4

受検人数	本年度	昨年度
	221 人	200 人

※平均正答率の状況から、今後指導の重点を置くべき領域や観点を明らかにし、指導の工夫・改善を図っていきます。

2 指導の工夫・改善（1年英語）

領域 (平均正答率)	平成19年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (85.5%)	正答率は市の平均を4.0ポイント上回っている。昨年度との比較においても、3.2ポイントの上昇となった。昨年度に引き続き、リスニングの領域が最も良い正答率を獲得した。	英語の発音に慣れるように、聞くことや話すことに関する活動をさらに授業の中に取り入れていきたい。
読解問題 (83.5%)	市の正答率が昨年度よりも0.8ポイント上昇したが、本校では5.2ポイント上昇している。さらに、今年度の市の平均と比較すると、9.2ポイント上回る結果となった。	特に1年生では、聞く・話す能力の育成に力を入れてきたが、英語の発音に慣れるだけでなく、文字を読み、それを理解する力も同時に育成できるよう、ワークシート等の教材を工夫して授業を展開していきたい。
文法・表現 英作文 (79.3%)	正答率が昨年度の本校平均を4.8ポイント、市の平均を11.1ポイントも上回っており、極めて良好な結果となっている。	学習した語彙や文法を自分のものにするために、教科書中心の活動に加えて、さらに実際の場面に即した英語での表現の定着を図っていきたい。